

「合格の理由」

(九州大学 文学部 人文学科)

みなさん、こんにちは。今回、合格体験記を書かせていただくことになり、大変うれしく思っています。拙い文章ですが、少しでも皆さんの参考になれば幸いです。

私は合格するために以下3つのことが大切だと思います。

1つ目は、周囲の人に頼ることです。3年生の1年間は、沢山のの人に頼った1年だったと思います。私はとても数学が苦手でした。そのため、3年生の6月には数学のH先生に相談し、1日3問添削をしていただきました。その後、英語科のN先生にも声をかけていただき、英作文の対策も早いうちから始めることが出来ました。2次試験対策を早くからしていたので、センター後に赤本を解き始めた時も、焦らずに済みました。さらに、数学においてはセンター後も朝課外の時間帯に個別で授業をしていただきました。英語科のT先生には自由英作文の添削や赤本を使った授業をしていただきました。T先生のアドバイスはすべての確で、とてもためになりました。国語科はT先生とB先生の二人がかりで教えていただきましたが、私の文法力に呆れながらも最後まで熱心に指導してくださいました。社会科のK先生は「白土専用」と称して、とても分かりやすいプリントを作ってくださいました。土曜日も日曜日も関係なく朝早くから教えてくださった先生方には感謝してもしきれません。このように何年も受験生と向き合ってきた嘉穂の先生に頼れば、必ず支えてくれます！

2つ目は、科目数を絞らないことです。私は、勉強が大嫌いでした。理系科目が苦手です。文系科目が好きだったこともあり、何度か科目を絞って勉強しようかと考えました。しかし、今となって思うのは絞らなくて本当に良かったということです。科目を絞れば絞るほど、その科目に関しては誰よりもできるようにならなければなりません。そのリスクは本当に大きいです。私にはそのリスクを背負う自信はありませんでした。実際、私はセンター本番では国語はいつもとれる点数よりも30点ほど低く、大嫌いな理科基礎では自身の過去最高点数を叩きだしました。試験本番は何があるか分かりません。少しでも可能性を残しておきたいなら、絞らず勉強しておくべきだと思います。

3つ目は、記録を付けることです。3年生の夏から勉強時間と内容、その日の反省をノートに書いていました。目に見える形で1日を振り返ると、意外に無駄な時間があったりします。また、どれだけの量の勉強をこなしたかを書くことで受験までの計画が立てやすくなります。私は模試が返ってくるたびに、同じノートに各科目の反省と模試の総括をしました。自分の弱点があり、対策すべきことの優先順位をつけるのに役に立ちます。勉強をしているのに点数や判定が上がらないという人は、わからないものをそのままにしていることが多いと思います。まずはしっかりと、いまの自分の弱点探しからしてください！

N先生曰く、不思議の勝ちがあっても、不思議の負けはありません。努力を怠ると、それなりの結果しか返ってこないのです。自分の頑張りが実ったことを一番実感できるのは、発

表された番号に自分の番号があった時です。みなさんも、最後の最後まで努力し続けてください。みなさんの希望進路が実現することを心から願っています。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。